

文部科学省 大学が行う研究・教育への支援事業 博士課程教育リーディングプログラム【オンリーワン型】 レアメタル等資源ニューフロンティアリーダー養成プログラム

(実施期間：平成24年度採択～平成31年度)

博士課程教育リーディングプログラムについて

文部科学省が行っている事業「博士課程教育リーディングプログラム」は、優秀な学生を、俯瞰力と独創力を備え広く産学官にわたりグローバルに活躍するリーダーへと導くため、国内外の第一級の教員や学生を結集し、産学官の参画を得つつ、専門分野の枠を超えて博士課程の前期後期一貫した世界に通用する質の保証された学位プログラムを構築・展開する大学院教育の抜本的改革を支援し、最高学府に相応しい大学院の形成を推進する事業です。

資源分野の国際教育研究拠点

～国内外フィールドを使った実践教育で応用力を育成～

5年間の博士課程教育プログラムでは、資源開発の現場である国内外フィールドを多用した実践教育を重視し、専門分野に限らずフィールドワーク、インターンシップを必ず経験します。大学内で得た知識や専門性を発揮し、新たな知識修得につなげるチャンスと言えます。海外の資源地質調査から生産現場、環境対策、資源リサイクルの事例を研究対象(実践舞台)として活用することで、応用力と実践力を身に付けます。

産学間連携とアウトカムズ

～幅広い知識によりキャリアパスを開拓～

持続的な資源供給は世界的な課題です。グローバルな課題を認識し、資源開発の最前線に立つ人材になるには、自らの力を発揮するためのキャリアパスをどう描くかが重要になります。5年間の博士課程教育で思考が偏りすぎないよう、産学官からの協力を受け様々なキャリアパス事例を紹介しま

す。また、留学生を含むコース生同士のグループワークや討議を通じ、学生自らがキャリアアップすると同時に、その能力を発揮するための支援を行います。修士生が資源開発の最前線に立ち、我が国のみならず資源の安定供給を支えるグローバルリーダーとして活躍することを確信しています。

専門性を育む特別教育コース

～最新の講義と先進の研究により優れた専門性を修得～

100年の伝統を持つ鉱山・資源学の伝統を生かし、秋田大学リーディングプログラムでは「資源ニューフロンティア特別教育コース」に2つの専門コース「地球資源学コース」と「資源開発素材コース」を設置します。工学資源学研究科の関係専攻に所属する学生がコース生の対象となりますが、教育学研究科、医学系研究科、国際資源学教育研究センターという全学体制に加え、国内5大学、海外7大学から教員を結集し、資源に関する専門科目、社会系やMOT(技術経営)系科目、資源リテラシー学などに分類された専用コースワークを履修します。さらに専門性に応じた実験機材などの研究環境を整備。コースの枠を超えたラボローテーションや海外フィールドワーク、インターンシップなど、幅広い最新の研究活動を通じて専門性を修得します。また、奨励金など学修支援を行うサポート体制を整備するほか、資源開発人材のエキスパートになるための、5年一貫教育を支える学修環境が整っているのが特徴です。

本プログラムは、平成25年度から本格的にスタートします。国内外を問わず、若く優秀な人材が資源開発のリーダーになるべく秋田に集うことを期待しています。

